

「ごみの減量化・資源化意見交換会」
について（報告）

【概要版】

平成29年5月

弘前市環境管理課

目 次

1. 開催日時及び場所、出席者数	1
2. 開催内容（各回共通）	2
3. 主な意見内容（項目別）	2
4. 主な意見の割合	3
5. 主な意見交換内容（項目別）	4
①有料化賛成意見	4
②有料化反対意見	5
③有料化関連質問等	6
④ごみの量に関すること	7
⑤ごみの種類・分別・3Rに関すること	8
⑥ごみ処理経費に関すること	9
⑦不法投棄・不適正排出に関すること	10
⑧生ごみ減量に関すること	11
⑨再生資源回収に関すること	12
⑩広報・周知啓発に関すること	13
⑪指定袋に関すること	14
⑫廃棄物減量等推進員・集積所に関すること	15
⑬民間での取り組みに関すること	16
⑭ボランティア清掃に関すること	16
⑮その他	16

1. 開催日及び場所、出席者数

No.	実施日	地区区分	会場	時間	男	女	総数
1	H29.1.27 (金)	全中学校区	市民文化交流館 ホール	18:30～20:30 (30分延長)	37	13	50
2	H29.1.28 (土)	第五中学校区①	弘前市総合学習センター 大会議室	14:00～15:30	26	5	31
3	H29.1.28 (土)	第五中学校区②	弘前市総合学習センター 大会議室	18:00～19:30	10	1	11
4	H29.1.29 (日)	第三中学校区①	弘前市第三中学校 体育館	14:00～15:30	21	10	31
5	H29.1.29 (日)	第三中学校区②	弘前市第三中学校 体育館	18:00～19:30	3	2	5
6	H29.2.5 (日)	石川中学校区①	石川小学校 体育館	14:00～15:30	4	2	6
7	H29.2.5 (日)	石川中学校区②	石川小学校 体育館	18:00～19:30	2	0	2
8	H29.2.11 (土)	津軽中学校区①	中央公民館岩木館 大ホール	14:00～15:30	12	2	14
9	H29.2.11 (土)	津軽中学校区②	中央公民館岩木館 大ホール	18:00～19:30	1	3	4
10	H29.2.12 (日)	第二中学校区①	弘前地区環境整備センター 管理棟2階研修室	14:00～15:30	13	3	16
11	H29.2.12 (日)	第二中学校区②	弘前地区環境整備センター 管理棟2階研修室	18:00～19:30	5	2	7
12	H29.2.26 (日)	船沢中学校区①	船沢公民館 第1会議室	14:00～15:30	1	0	1
13	H29.2.26 (日)	船沢中学校区②	船沢公民館 第1会議室	18:00～19:30	0	4	4
14	H29.3.12 (日)	新和中学校区①	新和地区体育文化交流センター 体育室	14:00～15:30	0	0	0
15	H29.3.12 (日)	新和中学校区②	新和地区体育文化交流センター 体育室	18:00～19:30	1	0	1
16	H29.3.18 (土)	北辰中学校区①	北辰学区高杉ふれあいセンター 研修室	14:00～15:30	4	2	6
17	H29.3.18 (土)	北辰中学校区②	北辰学区高杉ふれあいセンター 研修室	18:00～19:30	2	0	2
18	H29.3.19 (日)	第一中学校区①	市民文化交流館 ホール	14:00～15:30	26	8	34
19	H29.3.19 (日)	第一中学校区②	市民文化交流館 ホール	18:00～19:30	4	0	4
20	H29.3.25 (土)	東目屋中学校区①	東目屋ふれあいセンター 研修室	14:00～15:30	7	0	7
21	H29.3.25 (土)	東目屋中学校区②	東目屋ふれあいセンター 研修室	18:00～19:30	1	0	1
22	H29.3.26 (日)	第四中学校区①	市立観光館 多目的ホール	14:00～15:30	11	6	17
23	H29.3.26 (日)	第四中学校区②	市立観光館 多目的ホール	18:00～19:30	4	2	6
24	H29.4.2 (日)	常盤野中学校区①	岩木嶽さわやかホール 和室	14:00～15:30	0	0	0
25	H29.4.2 (日)	常盤野中学校区②	岩木嶽さわやかホール 和室	18:00～19:30	1	1	2
26	H29.4.9 (日)	裾野中学校区①	農村環境改善センター 農事研修室	14:00～15:30	0	0	0
27	H29.4.9 (日)	裾野中学校区②	農村環境改善センター 農事研修室	18:00～19:30	0	0	0
28	H29.4.16 (日)	相馬中学校区①	中央公民館相馬館 研修室	14:00～15:30	1	2	3
29	H29.4.16 (日)	相馬中学校区②	中央公民館相馬館 研修室	18:00～19:30	2	0	2
30	H29.4.22 (土)	南中学校区①	千年交流センター 研修室	14:00～15:30	18	4	22
31	H29.4.22 (土)	南中学校区②	千年交流センター 研修室	18:00～19:30	2	1	3
32	H29.4.23 (日)	東中学校区①	総合学習センター 大会議室	14:00～15:30	8	9	17
33	H29.4.23 (日)	東中学校区②	総合学習センター 大会議室	18:00～19:30	7	1	8
計					234	83	317

2. 開催内容（各回共通）

- ①開会
- ②あいさつ
- ③ごみの減量化・資源化にかかる情報提供、意見交換

情 報 提 供：弘前市都市環境部環境管理課

コーディネーター：ひろさき環境パートナーシップ21

- ④閉会

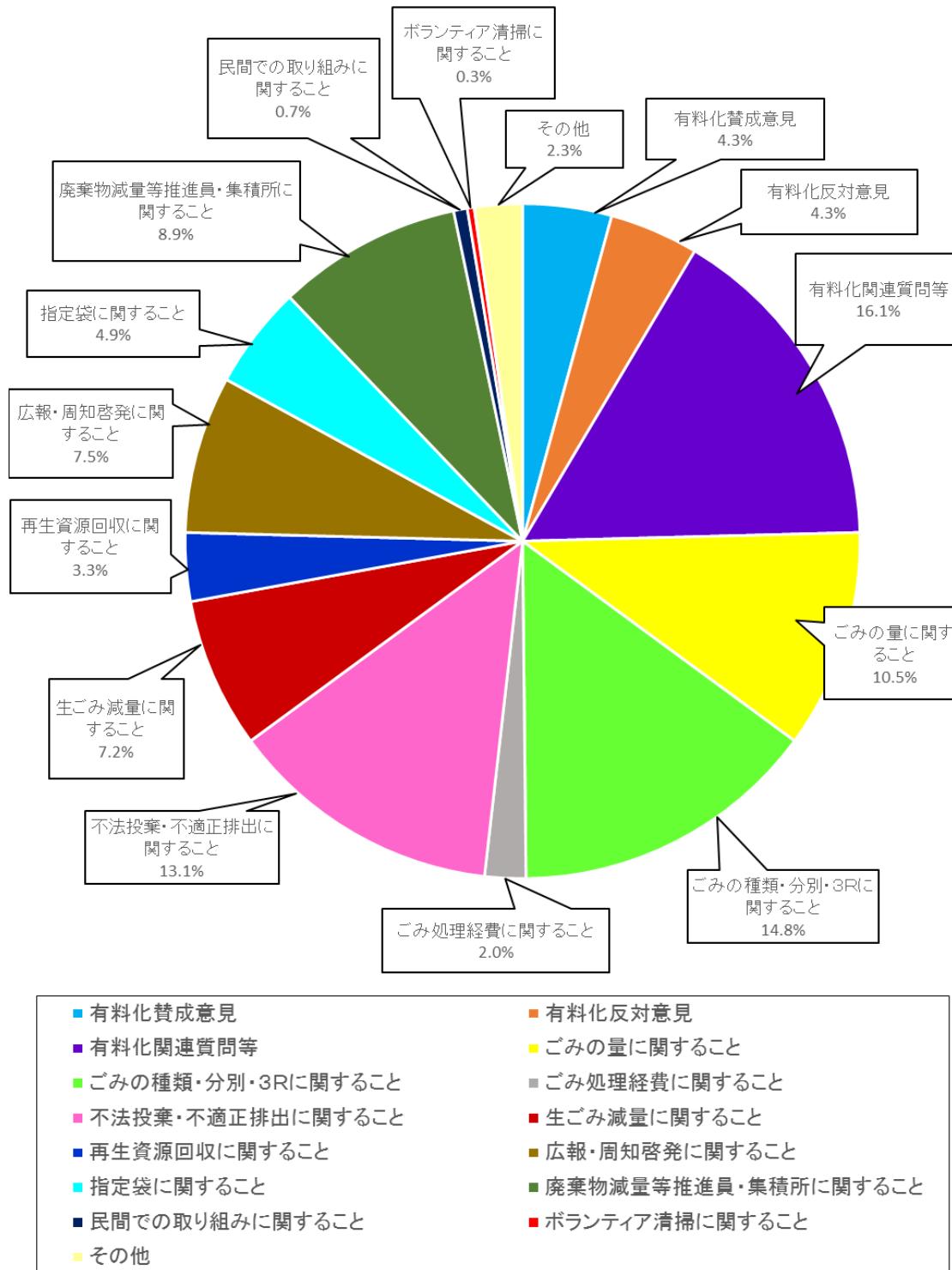
※全体で1時間30分～2時間

3. 主な意見内容（項目別）

番号	項目	件数
①	有料化賛成意見	13
②	有料化反対意見	13
③	有料化関連質問等	49
④	ごみの量に関すること	32
⑤	ごみの種類・分別・3Rに関すること	45
⑥	ごみ処理経費に関すること	6
⑦	不法投棄・不適正排出に関すること	40
⑧	生ごみ減量に関すること	22
⑨	再生資源回収に関すること	10
⑩	広報・周知啓発に関すること	23
⑪	指定袋に関すること	15
⑫	廃棄物減量等推進員・集積所に関すること	27
⑬	民間での取り組みに関すること	2
⑭	ボランティア清掃に関すること	1
⑮	その他	7
	合 計	305

4. 主な意見の割合

意見交換会における意見等



5. 主な意見交換内容（項目別）

①有料化賛成意見

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
全中学校区	有料化に賛成です。1年も2年も待っていられない。できるだけ早く、できるだけ高めの金額に設定してもらいたい、有料化を実施してもらいたいと思う。	未回答
全中学校区	条件付で賛成である。とにかくやるのであれば、だらだらとするのではなく、早めに決めてほしい。結局、皆さん宙ぶらりんの状況になっている。やるならさっさとやって、それでファイドバックを繰り返していくべきだと思う。そして10年後の目標もあるわけだから、それまでに何回も意見交換会を重ね、その上で、新しい施策を行っていくべきだと思う。	未回答
石川 中学校区	ごみの有料化は賛成ですが、石川地区は特に不法投棄が心配である。	不法投棄については、今までの意見交換会でも話が出ており、袋が決まればそれに入れないで、捨てる人が増えるのではないかということで皆さん心配されていました。不法投棄は、以前からあることで、今まででは町会やその土地の管理者にお願いしていましたが、例えば市で回収して綺麗にして、今後は捨てられないように対策を取るなど、強化していきたいと考えております。
石川 中学校区	有料化は、時代の流れなのかなと感じていて、消極的な賛成です。意見交換会は意見がある人が来るので、反対の人が目立ちますけど、仕方が無いと思っている人も結構いると思います。ごみの有料化については、ごみが多いと問題になってから、スピード一だんと感じます。生活が苦しい方とか、これまで分別がんばってきた人とかは、何かワンクッション置いてもいいと思う。	新聞報道等で有料化が決まったのかと市民から問い合わせが多くありましたが、有料化については意見交換会で意見を広く聞いてから方針を決めるということで、今後も意見交換会は続きます。来れなかった人にも伝えてもらって、参加してもらえばと思います。

②有料化反対意見

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
全中学校区	<p>有料化に反対です。消費税の例をとってみると、逆進性があるということで批判的になっている。まだ消費税の場合は、物を買わなければそれで済むが、ごみというものは必ずしもそうではない。つまり、貧しい人ほどごみ負担が高くなる有料化は反対である。</p> <p>また、全国市区町村の 63.1%が実施しているとのことだが、逆を言えばその 63.1%以外については、有料化をしていないということである。私は有料化をしなくてもごみ減量化・資源化が非常に進んでいる自治体があると聞いている。そのような自治体に大いに学ぶところはあるのではないか。</p>	<p>お話をとおり有料化している自治体は 6 割強、弘前市ではごみの袋は指定されていないが、それ以外にも指定袋制を取っている自治体が多く見られる。そのような自治体では、有料化ではなく、手数料収入はないが、袋に排出元を記載する欄を設けるなど対応をしている。それ以外にも、いろいろな事例を調査し、今後もお示ししていきたいと考えています。</p>
第四 中学校区	家庭系、事業系ともに分別を徹底すれば、まだまだごみが減らせる余裕があるのか。分別を徹底して、出来るだけごみの有料化は避けていただきたい。	結果的にリサイクルされるごみも当市のごみの量にカウントされています。イメージ図を資料 15 ページに掲載しています。まずは、燃やせるごみに含まれる資源化可能なごみを分別して、リサイクルを推進します。分別をすることによって、ごみに対する意識が変わってきます。意識づけは大事であり、結果減量に繋がります。また、物を買う時にごみになるかを考えるといった、ライフスタイルの見直しや、生ごみの水きり、食材の使いきり、料理の食べきりといった 3 きり運動を行うことでごみの発生自体を減らすことが必要です。
相馬 中学校区	11月のときにもお話をしましたが有料化には反対です。まずは事業系について再考し、家庭系については猶予を持って、色んな働きがけをするべきだと思う。再生資源回収運動について集めたものはごみの量にはカウントされないのか。	ごみの量にカウントされて、リサイクル率にもカウントされています。

③有料化関連質問等

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
津軽 中学校区	有料化した場合、ごみ袋が高くなれば低所得者の方や生活保護者の方が大変なので、そういった人たちへの支援はあるのでしょうか。	有料化については、皆さんからの意見を聞いたうえで、最終的に市で判断するということになります。まだ、有料化の対象とか、減免措置について決まっておらず、仮に有料化をやると決まった場合にはまた、意見交換会を開き、意見を聞いて決めていきたいと思います。
北辰 中学校区	有料化実施の目途はいつになるのか。	決定事項は無いが、他自治体を見ると有料化実施までの期間は条例改正、説明会含めると約2年かかります。意見交換会で出された意見も内部で検討する時間も必要で、意見交換会が終了してすぐ決まるとはならないと思います。
第四 中学校区	ごみの有料化検討は弘前市のごみが多いということが原因なのか。	ごみ施策について審議いただく場として、弘前市廃棄物減量等推進審議会があります。この会議の中で、弘前市のごみが多く、市民一人一人が意識していかなければならぬのではないかという意見が出ました。意識させるためには、全国的にも導入が進んでいる家庭系ごみの有料化の検討が必要ではないかという経緯があります。
相馬 中学校区	有料化なった時の袋は、大きさとかどうなるのでしょうか。	当市は現在、袋が決まっていなく、推奨の40リットルの袋を使用していると思います。有料化や指定袋を決めている自治体は一般的には、40リットル、20リットル、10リットル等、数種類作成しています。審議会でも意見が出ているので、仮に有料化や指定袋というのを考えていくのであれば、より小さい袋も検討していかなければと思います。

④ごみの量に関するこ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第五 中学校区	いくら分別をしてもごみの排出量は変わらないので、ごみの減量化にはならないのではないか。	分別している、かん・びん・ペットボトル等の資源物もごみの総量には入ります。分別をするイコール、ごみが減量するということではありません。ごみの総量としてはカウントされるので、ごみの減量の効果となるものはごみを出さないようにするか、市のカウントとならない民間、スーパーでを集めている資源回収に出してもらうとカウントされません。これは全国統一の方法です。
船沢 中学校区	8月の生ごみが多く、水分も多い。季節限定で生ごみを堆肥化することは弘前で可能か。なにをやれば良いか。	やるとすれば、水きりが良いです。堆肥化もひとつの手段であり、他自治体でもやっているが堆肥を誰が使うかということで非常に悩まれています。そのままごみになるようであれば本末転倒であるため、リサイクルよりもごみを減らす水きりからスタートした方が良いと思います。生ごみが多い時期に水きり強化ということも必要です。
新和 中学校区	資料を見ると青森、八戸、弘前を比べると弘前が全体の排出量が一番多い。しかし、弘前はいろんなごみの資源回収をやっているので、かなりリサイクルされているものだと思ってい	リサイクルは結構されており、量は多いです。ただ、説明したとおり、燃やせるごみの量があまりにも多いです。食べ残しや生ごみの水切りをしていない可能性があります。青森、八戸、弘前を比べて、制度的に何が違うかというと、八戸市では10年以前から有料化を実施しています。青森市は今年度から指定袋となり、指定袋以外は収集しません。そういうた当市と違う影響が排出量に関係していると分析できます。

⑤ごみの種類・分別・3Rに関するこ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
津軽 中学校区	資料を見ますと大型ごみが多い。衣類についても回収とかやっていると思いますが、他の自治体では、木製の家具を修繕して再利用しているところがあり、衣類についても破けたものとかをシルバー人材センターとかで作り直していたりするが、そういう考えはあるか。	リユースということだと思いますが、ごみを減らす段階としてはリサイクルも必要ですが、リサイクルの前にもっと大事なものがリユースだと思います。審議会でもリユースの取り組みについて意見が出されていて、八戸市で既にそういったことを実施しており、お話を伺ったりしています。また、リサイクルプラザというのがありますので、プラザとお話を進めていまして、家具等を修繕して再利用できないか検討しているところです。衣類については、今のお話は初めてでしたが、非常に良い取り組みだと思いますので参考とさせていただきます。
第四 中学校区	小型家電について、燃やせないごみで出している。家電量販店で小型家電回収しているがどちらでも良いのか。	公共施設に小型家電回収ボックスを設置していたが民間の施設の方が市民の利便性が高いということで、市内スーパーや電気屋にボックスを設置しています。15センチメートル×25センチメートルの投入口から入るもので電源が繋がっているものであれば入れることができます。現状では燃やせないごみに出しても、回収ボックスに入れても良いです。どちらでも良いが、燃やせないごみに出すとごみの排出量にカウントされ、リサイクル率も増えません。回収ボックスはごみの排出量にはカウントされるが、リサイクル率は高くなります。出来ればボックスを使っていただきたいです。回収ボックスを使える人だけではないので、燃やせないごみでも収集している現状です。
南 中学校区	分別が面倒だという意見があるが、もっとわかりやすくする方法はあるか。	紙類について、その他の紙と雑紙の2つの区分がわかりづらいと思います。分別の見直しを検討しています。

⑥ごみ処理経費に関すること

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第五 中学校区	ごみ処理経費、年間32億円、市民1人当たり1年間18,000円、月にすれば1,500円位の感じになりますよね。それを日割りすると50円くらいになります。経費、支出が他の市町村と比べて適正なのか、遙かに経費が高いのか教えていただきたい。事業系ごみですが削減の目標がすごい量になっているが、この事業系が本当に現状からしてこれだけの削減できると見ているのか、あくまで理想なのか。	ごみ処理経費ですが、人口規模や焼却施設を何基持っているか、建設費を返すためにお金が必要なのか、そういう様々な事情が各自治体あります。そういうものすべて均したときに弘前市が高いかというと、およそ平均ぐらいです。事業系の目標は10年の長い目標で中間目標、その年の減り具合を見ながらということあります。不可能ではないということで、取り組んでいきたいと考えています。
第一 中学校区	ごみ処理費用についてですが、中間処理費用が一番かかるのですが、油代とかなのでしょうか。	確かに焼却に一番お金がかかっておりまます。他には、容器包装を分別したり、資源化するのにもお金がかかっております。油もそうですけど、施設そのものの建設費だと施設を維持するのにお金がかかっています。今の重油については変動費ですけど、割合的には3割ぐらいです。なので、ごみを減らす目的として、施設の立替をするときにできるだけ小さいものを作れればそれだけ市民の負担が減るということになります。
相馬 中学校区	ごみが多く出ているということはわかるが、その分ごみを処理して売電し、県内で一番、売電収入を得ているじゃないですか。それがどれくらいになっているか知りたい。	ごみ処理経費が約32億円で、売電収入は約1億円となっております。全体のごみ処理費用から見ますと、そこまででもないです。重要なのは、ごみを受け入れて売電するよりは、そもそもごみ処理経費を減らす方が一番重要です。

⑦不法投棄・不適正排出に関するこ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
石川 中学校区	山などに捨てられていることよりも、アパートに捨てられていたときに、最終的に町内の人の負担が増えることが心配です。	市内のアパートや町会の集積所、ルールを守らないで出されたものは町会の人が分別をして、次の収集日に出したり、市内全域にご負担をかけているということはあると思います。県内では弘前市を含め4市町村だけ、ごみ袋が決まっていません。ごみ袋が決まっていないので、スーパーの袋や汚くなつたダンボールで出しても回収している現状があります。そうなると誰が出した不明であつたり、ダンボールで出すと中身が見えない等あるので、ごみ出しのルールの強化をしていきたいと考えております。
北辰 中学校区	カメラを付ければ良いという話もあつたが、電源をどうするのか、カメラは誰が買うのかといった具体的なものが無い。町会に丸投げしてはダメだと思う。費用も併せて考えなければならない。	市の予算でカメラを数台購入しており、性能も良く電池で数週間稼働する。協力頂ける町会や土地所有者と一緒に進めたいと思います。今後、カメラを設置するときに町会に丸投げといったことは無いようにしたいと思います。不法投棄は犯罪だということを解らせるような、広報周知も進めていきたいです。
相馬 中学校区	山に捨てられた不法投棄は、土地の所有者が処理しなければいけないということは知つてはいるが、これはおかしいのではないか。そういうのを有料化になって手数料を取るのであれば回収してほしいと思う。そうしないと捨てられた人はたまたまんじやない。	有料化している自治体でもそういったお話を良くいただいており、いただいた手数料の一部を活用して、不法投棄対策をしている自治体はかなり多いと思います。あとは有料化の目的として、周辺の自治体では有料化しているところが多くて、その有料化している自治体から捨てられているという苦情が多く、今は町会や個人で処理してくださいと原則論をお願いしているところですが、それも含めてこのままで良いとは思つていませんので、処理する人が報われるような体制作りも必要だと考えています。また、不法投棄については、有料化する、しないに係わらず対策は考えていきたいと思います。

⑧生ごみ減量に関するここと

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	コンビニ、スーパーからでる弁当の生ごみが 630 万トン程捨てられていた。戦時中に生まれたものとして、弁当等捨てられるのを見ると非常に勿体無いと思う。コンビニやスーパーで捨てられるごみが多いので行政指導とかできないものか。	事業系、食品関係、飲食店、コンビニ、スーパーから出る食品のごみは、ものすごい量になっています。食品リサイクル法では定期的に食品廃棄が出る大手のスーパーは、リサイクルすることを義務付けられ、リサイクルは進んでいる状況です。小規模の店舗やスーパーとコンビニは、法律の義務外でしたので、自分たちの意識でリサイクルに回すか、廃棄するか判断しています。展開検査で持ち込まれるごみを開けた結果、手付かずの弁当やおにぎりが含まれている現状があります。スーパー等に働きかけて、取り組んでいこうということで進めています。市内のスーパーによっては消費期限が近づいているので、値引きしますというようなスーパーさんもあります。ご家庭でなるべく食品ロスを出さないようにしてもらえばと思います。
石川 中学校区	コンポストについては、堆肥化しても使う人も少ないだろうし、高齢者も多くなってきており、今時コンポストに力を入れるのは疑問に思う。電動処理機でたい肥化したものを使い道がないまま捨てるというのも、電気代をかけてまでして捨てるというのも循環としては疑問である。補助を出して終わりではなくて、それよりも堆肥化したものを使えるような仕組みを考える必要がある。	堆肥として使用することは、もちろん根本的なことなので、それが一番望ましいです。堆肥化の仕組み等については県で食品リサイクルを重点に、事業化してモデル地区を作り取り組んでいくようですので、積極的に参加して取り組んでいきたいと考えております。
第二 中学校区	水キリをしたらどれくらい減るのか。	10 パーセントくらいです。あとは食べキリも大事で 4 人家族だと年間 6 万円くらい捨てられています。賞味期限が過ぎてそのまま捨てられていることが多く、使いキリとか食べキリが非常に大事なので、もっと周知していきたいと思います。

⑨再生資源回収に関するこ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第五 中学校区	紙は宝の山ということで、周りから集めて貯めています。ただ、よその方にそれを勧めますと、置く場所がないということで、中々協力していただけない。缶もたためて学校のPTAの回収の方に出しています。そういう気持ち、関心を持つことが大事だと思う。女性がごみ出しや料理をすることが多いと思うので、女性に関心を持たせるのが大事だと思います。	検討材料とさせていただきたいと思います。
第四 中学校区	弘前市で廃品回収を行っている割合または団体数はいくらか。廃品回収を増やせばごみが減ると思う。学校でも回収を年2回行っているのを3回に増やすと良い。アパートに住んでいる人は溜めておくのが嫌なすぐ捨ててしまう。	再生資源回収運動の実績団体数は、町会以外にも婦人会、PTA等様々な団体があり、平成27年度実績で178団体。その内、町会単位は66団体です。市全体で330町会があるので、5分の1、20%となります。再生資源回収の課題として、今後団体数を増やすことが難しいため、意見あったように1団体あたりの実施回数を増やすことが必要です。中には100万円程度の収入を得ている町会もあります。先進的に取り組んでいる団体の取り組みを紹介することも必要です。
第四 中学校区	町内単位で資源回収しているところもあれば、学校単位で資源回収しているところもある。ごみ減量になっているのか。	ごみの排出量とリサイクル率の2つの指標があります。再生資源回収をすると、今まで燃やせるごみに含まれていたものが、資源ごみに移行するが全体の量は変わりません。直接、減量にはならないが資源化に働きます。ごみを分別することで、燃やせるごみの内訳が見えてきます。ごみの「見える化」が進むことによって、ごみ減量に間接的に繋がります。

⑩広報・周知啓発に関するこ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	広報でごみの情報が少ししか載っていないと見逃すこともあるので、もっと大きく見せて目に付くようにしたらどうでしょうか。	広報ひろさきで毎月、ごみ減量速報として平成27年度から載せさせていただいています。広報ひろさきは月2回発行していますが、様々な市の情報を載せているので、環境部門で毎月大きく掲載スペースを取れないという事情もあります。今後は、例えばごみについて特集した広報誌を発行できればと考えています。
津軽 中学校区	これまでの内容は市民向けだったと思いますが、これは小学校、中学校、高等学校にも教育として必要ではないか。例えば、学校の生徒がコンビニで買ってきましたものを集積所にポイ捨てするのを多く見ている。学校教育が大事だと思う。	そこは当市の弱いところで、取り組みが遅れていると思います。小学3、4年生ではごみの循環ということで、授業で触れるところがあると聞いていますが、それ以上踏み込んだものはありません。当市の現状を知らない子供は沢山いると思いますので、検討していきたいと思います。
新和 中学校区	お金はかかると思うが、大々的なキャンペーンをやってはどうか。そもそも、行政がごみの減量化に取り組んでいる事自体、市民がどれだけ知っているか。それほど多くないと思う。	新聞等でごみの有料化が取上げられるようになり、また、市民に対し意見交換会も実施したのはここ1、2年の話で、ようやく取り組み始めたといつても過言ではありません。今まで、市としては減量を伝えてきたが、それが市民に伝わっていませんでした。広報にごみの量を載せ始めたのも去年の話です。去年の秋にカルチュアロードでキャンペーンをやった際のアンケートによると、約700人から回答いただき、弘前市が県内で1番ごみが多いという事を知っていた割合が4割、知らなかった割合が6割でした。まだまだ、周知が不足していると思います。

⑪指定袋に関するこ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
石川 中学校区	有料化は本当にしなければいけないのか。市としては有料化をしないと財政が厳しいのか。有料化をしないといけないのであれば、指定の袋をまずは作ってやればどうか。	有料化についてはまだ、決まっていることは何もないです。有料化を前提で意見交換会を開いている訳でもなく、財政的にということでもありません。もし、有料化するとなればまた、意見を聞きたいと思います。ごみ袋について、当市は指定袋というものはありません。県内で指定袋が無いところは、西目屋村、藤崎町、階上町、弘前市です。他の市町村は袋が決まっており、指定袋で出さない場合は収集していません。そして、それに手数料が上乗せになっている有料化実施市町村は半分あります。当市は現状、推奨袋はありますが、ダンボールやスーパーの袋に入れて出しても収集しています。ごみが出しやすい状況が、ごみが多い原因の一つだと思っています。
石川 中学校区	指定袋を決める等、様々なことも一緒にやれば、有料化はしなくても済むようになるのではないか。	青森市では去年の4月から指定袋を決めたところ減量効果がありました。排出ルールをきちんと決めて分別して出してもらうことで減量は見込めると思います。有料化する前に、指定袋の検討という貴重な意見として参考にさせていただきます。
第二 中学校区	田舎館村とか指定袋を利用しており、それでないと回収しないというのを徹底している。そういうのを時間はかかるでしょうけど意識は出てくる。意見として、行政と町会や関係団体を繋いで協力体制を整えるのが大事である。	様々やるべきことはやってという考え方もありますし、全国で6割以上の自治体が有料化をしています。県内で指定袋をやつていないのが4自治体しかなく、要は当市がごみが出しやすいということもあれば、まずは指定袋も有効なのかなだと思います。そういったことをトータルで考えて結論を出したいと思っています。

⑪廃棄物減量等推進員・集積所に関するこ

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第三 中学校区	ごみの集積所の場所が千差万別で、役員と色々検討してある程度は謝礼を出してやっているところもある。逆に置き場所を提供してくれる方もいる。集積所の問題については、みんなの意識が高まっていけばもう少しよくなっていくと思う。お互いに協力していくことは、行政の方からの指導も必要だと思いますし、町会の役員も意識を高める運動をしていくべきだと思う。行政でも周知してもらいたい。	検討材料とさせていただきたいと思います。
津軽 中学校区	廃棄物減量等推進員についてですが、推進員の会議等はあるのか。また、ごみのルールが守られていなくて、黄色いシールが貼られ残っているごみを、推進員がきちんと分別をして回収してもらうようなことがあります。出した本人はこれでも回収してくれると思ってしまう。町会によってやり方が違うと思うので、具体的に指導方法を検討し、統一した内容でやってもらいたい。	推進員への情報提供については、辞令交付式で現状等を説明しています。町会によって様々な状況があると思いますので、手引きを作成し、指導等についても検討していきたいと思います。町会ごとに状況が違うと思いますので、収集業者への指導も含めて検討していきたいと思います。
第二 中学校区	経済的にも、ごみ収集はステーションでという話があったが、弘前市内のある町内では、家庭から収集している。今後、ステーション以外の収集は全くダメなのか。	市内中心部で毎戸収集しているところが多く、将来的にはまとめていきたいと考えています。逆に拠点回収しているところが毎戸収集になるということは、無いと思います。毎戸収集のところは3軒、4軒でもいいので、まとめて下さいとお願いしているがなかなか進まない状況です。また、集積ボックスが設けられないのであれば、収納枠も用意して出来るだけ毎戸は少なくして、収集にかかるコストを減らしたいと考えます。

⑬民間での取り組みに関すること

⑭ボランティア清掃に関すること

⑮その他

中学校区	市民からの質問・意見等	市の回答
第四 中学校区	資料1 7ページにごみを発生させない取り組みとして、マイバックの持参とある。先般、新聞でエコ事業所表彰にスーパー名が載っていた。そのスーパーでは今以てレジ袋を出しているが、なぜ表彰になるのか。	5つ程条件があります。条件をクリアする事業所については認定させていただく制度です。ごみについては適正に処理していることなどを条件としています。マイバックについては、強制までは出来ないので、お願いとして我々も働きかけをしています。現状のエコストア、エコオフィスの条件に該当していることから認定させていただきました。
南 中学校区	ひとり親世帯、貧困世帯へボランティアで食材を配ると聞いたことがあるが、弘前市で活動している団体はあるか。	フードバンクに関しては市内では存在しません。ある施設では余った食材を提供しているケースもあります。
全中学校区	ボランティアについて、桜まつり期間などに家の前をきれいにしようということで、独自に行ったものについては、自分たちの購入した袋で出すことになるのか。	今現在も、ボランティアを行う人たちに対しては、デレキの貸与やごみ袋の配布を行っています。仮に有料化になったとしても、申請等をいただければ減免措置というものをとることになると思われます。
第一 中学校区	町内に住んでいながら、町会から抜けたいという人はどう扱えば良いのか。	町会に必ず入るよう強制する事は難しいです。しかし、町会がなければ市の運営が成り立たないのは承知しています。町会加入の重要性を他の課と連携して、周知していく必要があります。また、ごみに関して興味のない大部分の人に、いかに知ってもらうかが課題です。町会行事の際に市から伺うといったことも強化していくかなければならないと考えています。

以上